

令和4年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	防災を楽しく学ぶサバイバルキャンプ事業		
事業主体 (連絡先)	岳都・松本「山岳フォーラム」実行委員会 連絡先：松本市安曇		
事業区分	(4) 安全・安心な地域づくりに関する事業		
事業タイプ	ソフト		
総事業費	5,721,209	円 (うち支援金：	4,381,000 円)

事業内容

アウトドアでの生活体験が被災時の生活にとって有益であることに着目し、防災×キャンプをテーマとした防災キャンプの開催と、イベント開催時の活動を支援、且つ災害時の初期救急の対応ができる人材育成を実施。

- ・防災キャンプ 10月1～2日 (68名参加)
 - ・野外災害救急講習 8月13～27日 (21名合格)
- 被災時に命をつなぐスキル向上のため、防災キャンプ等でのテクニックをDVD化し、松本市近隣市町村の小中学校に配布。
- ・松本市他64学校へ配布

事業効果

- ① 参加者の9割以上がキャンプ等未経験者であるなか野外災害救急法受講者等のサポート等もあり、継続してキャンプを楽しみたい方が非常に多くみられた。
- ② キャンプ生活を通じて普段家庭で準備している防災グッズ以外にも命をつなぐために必要なものがあることが理解された。
- ③ 山岳地等、救急車などを呼べない環境化における人命救助の方法が学べ、実際に高山病症状が発生した観光客を安全に誘導する等の活動につながった。

今後の取り組み

災害は季節・環境を問わず起こりえる中、在宅時・学校・会社内等での発生や冬期における発生など、様々なシーンを想定してその対策を講じる必要があると考えます。キャンプ場というアウトドアを楽しむために準備を整えた環境ではなく、家族と離れた状況での子供の対応や、厳冬期における災害発生などにおいても、どのように自らの命をつなぐかを考え・体験できる機会を継続的に実施していきたいと考えます。

また、防災×キャンプをテーマとした新たなコンテンツ造成を図り、山岳観光の活性化につなげる取り組みを発展的に実施したい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある

(活動写真)



【防災キャンプの様子】

【目標・ねらい】

- ① キャンプ未経験者の掘り起し
- ② 被災時における自助能力向上
- ③ 災害時の初期対応人材の育成

※自己評価【 B 】

【理由】

- ・参加者アンケート回答より、そのほとんどのの方が好意的か有効的なイベントであったと回答
- ・新たなコンテンツ造成が期待できることから
- ・コロナ禍の影響で参加申込があったものの当日の参加者は予定を達しなかった